

あいち農産物生産流通レポート

平成22年11月号

情報サロン		
・「あいちのふるさと農林水産フェア」を開催します	(食育推進課)	1
地域トピックス		
・新城市における菜の花エコプロジェクトの取組	(新城設楽農林水産事務所)	2
東日本情報		
・埼玉県における「ゆり」「シャコバサボテン」の生産	(東京事務所)	3
西日本情報		
・今秋、JA蒲郡市の新型みかん選果機が稼働開始	(園芸農産課)	5
フラワーページ		
・卸売会社に取り組む新しい花き流通	(東京事務所)	6
青果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)		7
・名古屋・東京市場における青果物の11月の見通し		8
花き		
・切花・鉢花の11月の見通し(県内市場)		20
輸出入		
・主要農産物の輸出入実績(2010年8月)		24
関連指数		25

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6417

「あいちのふるさと農林水産フェア」を開催します

愛知県の農林水産業や農山漁村の文化に触れ、食育や地産地消等について楽しく学んでいただくため「あいちのふるさと農林水産フェア」を開催します。

今年は、ナゴヤドームを会場とした「ドームうまいもんワールド」というタイトルで「あいちのふるさと農林水産フェア」と「全国ご当地グルメフェア」が同じ会場内で開催されます。

新鮮な農林水産物やふるさと商品の販売をはじめ、「ふるさと食品」の展示紹介や元中日ドラゴンズの立浪和義さんが食育・地産地消を語るトークショーなど、ご家族揃って楽しめる内容となっています。



昨年のふるさと農林水産フェア2009の様子

1 開催日時

平成22年11月20日(土)～23日(火・祝) 午前10時から午後8時まで

2 会場

ナゴヤドーム(名古屋市東区大幸南1-1-1)

3 内容

県内の新鮮な農林水産物やふるさと商品の展示と販売

企画展示「あいちのふるさと食品」

「平成22年度愛知のふるさと食品コンテスト」に出品された食品を始め、愛知県産農林水産物を使った「ふるさと食品」の展示紹介

三河山間地域の文化を体感できる「三河の山里体感プラザ2010」

「あいちの白米で食べくらべ!全国ご当地レトルトカレー」の販売

立浪和義氏によるトークショー(22日のみ)

4 入場料金(中学生以上)

前売 800円、当日 1,000円 *小学生以下無料

前売券はサークルK、サンクス、中日新聞販売店で販売中。

5 主催

ふるさと農林水産フェア実行委員会(構成:愛知県、名古屋市、中日新聞社)

6 問い合わせ先

愛知県農林水産部食育推進課 消費・食品表示グループ 電話052-954-6434(ダイヤル)

名古屋市緑政土木局農業技術課 電話052-972-2499(ダイヤル)

中日新聞社 社会事業部 電話052-221-0732(ダイヤル)

新城市における菜の花エコプロジェクトの取組

～なたねの搾油を目指して～

本県では、菜の花を栽培して耕作放棄地解消や景観保全に役立てるとともに、収穫したなたねを搾って食用油として活用し、さらにその搾りかすを肥料としてほ場に戻すという、循環型の栽培を目指した「菜の花エコプロジェクト」を推進しています。

新城市においては、耕作放棄地解消対策や環境・景観保全対策として、市内各地で菜の花の栽培が行われています。平成17年には菜の花栽培者の集まりとして「新城菜の花ネット」が設立され、新規栽培者の募集や地域おこしイベントの開催に取り組んできました。

しかし、新城菜の花ネットの取組は景観用品種の栽培が中心で、過去に30a程度の搾油用品種の作付けが行われたものの、収穫作業の困難さや少量のなたねを搾油してくれる製油所が地元にはないなどの理由から、循環型栽培の取組はなかなか進まない状況にありました。

そのような中、昨年度、県から搾油用品種「ななしきぶ」の種子が無償配布されたことを契機に、再度循環型の栽培に挑戦することになりました。

昨年9月末から10月中旬にかけて、市内の上平井地区を中心に「ななしきぶ」を約80a播種しました。今年の6月上旬には、比較的生育の良かった約10aから、約100kgのなたねを収穫することができました。

その後、なたねを天日干しで乾燥させ、とうみでゴミを取り除くという昔ながらの方法で下準備を行い、今年の播種用種子を除いた約60kgのなたねを搾油工場に持ち込むことができました。

その結果23.4ℓものなたね油を搾ることができ、今後は販売に向けての検討も始まっています。

収穫方法や販売方法など今後の課題はありますが、収穫体験、搾油体験や地産地消を推進する飲食店での油の利用など、新城市ならではの取組について検討し、少しでも地域の活性化につながるような活動をしていきたいと考えています。



なたねの収穫風景

埼玉県における「ゆり」「シャコバサボテン」の生産

埼玉県は、首都圏にあるという地理的な条件や水利等の農業基盤にも恵まれ、平成19年の花き産出額は187億円で全国5位という全国有数の産地となっています。

種目別では、切り花の産出額62億円（全国11位）、鉢物91億円（全国2位）、花壇苗34億円（全国2位）といずれも上位を占めています。

切り花では、出荷量で全国1位の「ゆり」は深谷市、川口市、さいたま市で、新潟県に次いで出荷量の多い「チューリップ」は深谷市、越谷市、美里町で生産されています。

鉢物類では、出荷量で全国1位の「プリムラ類」があり、「サボテン類」、「花木類」及び「洋ラン類」も全国上位の生産となっています。また「パンジー」、「マリーゴールド」、「ペチュニア」、「サルビア」などの花壇苗の栽培も盛んです。

今年10月に、京浜地域の行政、県連、卸売会社で組織する「花き流通情報連絡協議会」で、埼玉県における「ゆり」及び鉢物生産の現状について視察しましたので紹介します。

JAふかやの「ゆり」生産

JA ふかやにはゆり生産部会が3組織あり、年間700万本を生産し市町村別で全国1位の生産実績となっています。かつては「チューリップ」の一大産地でしたが、ゆりの長期冷蔵保存による周年出荷技術の確立とともに、12～13年前からゆりの周年生産に転換する生産者が増加しました。

ゆり生産部会のうち、生産者が21名と最も多いJA ふかやゆり部会では、現在、オリエンタル系、LA系品種を中心に年間400万本を周年生産しています。

生産に用いる球根はオランダ、ニュージーランド、チリなどから輸入し、農協の低温倉庫内（マイナス2℃）で貯蔵後、芽出し処理をおこない、生産者に配布されます。生産コストに占める種苗代の割合は約3割と高く、購入時の為替レートの影響も受けやすいことから、経費削減が重要となっています。

特に冬季はLA系が13～15℃、オリエンタル系が15～16℃と比較的高い夜温設定でハウスを加熱するため、重油が高騰した2年前には暖房費が経営圧迫の原因となりました。そのため、暖房が不要な夏作にウエートを置いた作付体系を導入しています。

また、ゆりの販売価格は金融危機後、かなり安値状況にあり、消費者にとっては買いやすい価格帯となっています。特に仏花需要としてのニーズが



出荷間近のゆり

増えていることから、今後の需要は期待できるのではという話を聞くことができました。

ちなみに本年の作柄は、夏場の高温・干ばつにより生育が抑制され、例年は3L中心の出荷となるものが2L中心と小ぶりとなりましたが、短期の周年栽培であることから大きな出荷量の谷は少なかったようです。

シャコバサボテン主体経営 (有) 田島園芸

全国のシャコバサボテンの1割を生産する全国屈指の鉢物生産者である(有)田島園芸では、施設面積532aで、シャコバサボテン38万鉢を生産する他、カランコエ12~18万鉢、アッツザクラ18万鉢、クチナシ6万鉢の生産をおこなっています。現在、全国のシャコバサボテンの生産量はピーク時の半分程度となっていますが、(有)田島園芸は全国各地の卸売市場に出荷し、量販店における自社シェアの確保に努めています。

また、新規品目として昭和59年頃、アッツザクラを導入し、現在では全国シェア3割の出荷量を占める品目に育っています。

生産面の特徴としては、①高冷地(戦場ヶ原)に山上げ栽培する作型の導入による9~10月出荷、②ポットティングマシンなどを用いた自家配合培土の製造、③夏場の高温対策として導入した高軒高のアクリルハウスでの良品生産などです。また、最近ではヒートポンプ(10馬力)を導入し、夏場の夜間冷房(15℃)により品質向上に役立てています。



シャコバサボテン

鉢花の価格は金融危機後低迷傾向にあり、利益率が低い状況にあります。市場シェア確保や販売先との連携による予約相対取引の増加にも精力的に取り組んでいます。



シャコバサボテンの製品

まとめ

埼玉県を代表する「ゆり」「シャコバサボテン」も、販売価格の低迷で厳しい経営状況にあることは確かなようですが、いずれの経営者も新たな取り組みにも積極的に前向きな姿勢が感じられました。

今秋、JA蒲郡市の新型みかん選果機が稼働開始

最新選果機を導入、ブランド力を強化

JA蒲郡市では、従来の選果機を一新、最新設備の選果機を導入し、11月の露地みかんから稼働を開始します。この施設は、国の「強い農業づくり交付金」を利用して導入されました。従来の選果機から改良された点は、腐敗果、浮皮果、ス上がり果を判別できるセンサーを搭載した点です。また、糖度酸度センサーも従来型より精度の高いものを搭載しています。

新型の選果機を導入することにより、腐敗によるロス発生を減らし、消費者に高品質で味のバラツキがないみかんを提供することができ、蒲郡ブランドがより一層強化され、消費者の評価・信頼も確固たるものとなることが期待されます。JA蒲郡市では、ブランド品の取組拡大を図ると同時に、取引市場に対しては品質保証をアピールして契約取引を押し進め、生産者の経営安定及び産地基盤の強化を目指しています。

ブランド化に向けた取組み

平成20年6月13日に地域団体商標登録を取得した「蒲郡みかん」の共選共販が始まったのは昭和32年からで、農協を中心とした強い組織力のもと、徹底した計画生産出荷と高品質生産を目指してきました。ハウス栽培を昭和49年より開始し、蒲郡のハウスみかん(ブランド名：蒲郡温室みかん)は名実ともに日本一と言われています。この「蒲郡温室みかん」と、露地温州みかんのマルチ栽培により糖度を高め糖度保証した商品「箱入娘」は、蒲郡みかんブランドの中核を成しています。他にもブランド品として、樹上完熟させた「樹熟デコポン」に取り組み始め、今後は、青島温州を長期貯蔵・熟成させた「蔵出し(仮称)」を始める予定です。

最新選果機を核とした今後の取組み

産地の将来計画では、消費者ニーズに即した高品質果実を提供するため、ハウス栽培の継続、マルチ栽培の拡大、優良品種の積極導入、ハウス栽培の高い技術力を活かした「デコポン」や「せとか」などの優良中晩柑類のハウス栽培導入を行うとともに、契約販売や直接販売の拡大、消費地への宣伝活動、ホームページやインターネットによる通信販売、PR宣伝活動などを強力に押し進めるとしています。



最新型みかん選果機

今回の選果施設導入により、糖度、酸度、階級比率などの選果データを生産者にフィードバックし、栽培改善に活かすことも考えています。

これらの取り組みによる、「蒲郡みかん」ブランドの更なる飛躍が期待されます。

卸売会社に取り組む新しい花き流通

FAJ（フラワーオークションジャパン）では新しい花き流通を見すえて、日持ち保証の表示「GOOD! タグ」や花き版有機農産物である「オーガニックコレクション」の取り組みを行っています。

< GOOD! タグ >

市場で切り花を調達する生花店にとって、廃棄ロスの多少に直結することから、店で長持ちする切り花の確保は経営上の大きな課題となっています。

FAJでは日持ち保証をすすめることで、生花店が安心して購入し販売できるようにするため、（財）花普及センターが定めた評価基準に従い、同社日持ち試験室で試験をおこない、合格した品種にのみ「GOOD! タグ」として認定しています。

「GOOD! タグ」には5日保証、7日保証、10日保証、14日保証の4種類あり、現在、農協部会1団体、個人10名（このうち本県1名）が認証を受けています。品目はバラ、ガーベラが周年、カーネーションは春期に認証されています。なお、この認証期間は1ヶ月間となっており、継続してタグをつけるためには、有効期間の終了日までに再度、日持ち試験を行い合格する必要があります。販売は、主に予約相対取引で大手花き店などに販売されており、評価も高まりつつあります。



< オーガニックコレクション >

青果物には有機 JAS 認証制度がありますが、観賞する花き類には同制度はありません。FAJ では、有機 JAS 規格に準じて栽培をおこなっている生産者と協力し、2007年7月から「オーガニックコレクション」と称して販売を始めました。

基準は有機 JAS 認証制度に従い、種まき又は植え付け前2年以上、化学合成農薬及び化学肥料を使用していないほ場で栽培されていること、栽培期間中、化学合成農薬及び化学肥料を使用しないこと、この条件をクリアしたものに、「オーガニックコレク



ション」の表示を認めています。MPS 認証の取得も前提条件とし、認証に用いた生産履歴を確認して、適合性を判断しています。現在、個人2名（このうち本県1名）がスプレーカーネーション、ストック、ハーブ、オリエンタルユリで認証され、予約相対取引で関心のある生花店に販売されています。

「オーガニックコレクション」は慣行栽培をおこなう生産者にとって、技術ハードルが高いため出荷は増えていないようです。一方、FAJには有機栽培に準じて生産される花きを求める消費者の問い合わせが増えており、少しずつニーズの高まりがみられ、今後の発展が期待されます。

MPS 認証 ... オランダで発足した、環境負荷低減の取り組みに対する認証制度。生産者、市場、流通業者に対する3種類の認証がある。

愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ±2%台以内
 やや : ±3～5%台
 かなり : ±6～15%台
 大幅 : ±16%以上

○ 名古屋中央卸売市場（品目：ぎんなん）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
21年実績	31	30 (95%)	868	873	岐阜 (2%) 鹿児島 (2%)
22年見通し	35	—	800	—	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>稲沢市を中心に入荷。 今年は表年にあたるが、梅雨明け後の高温により、大玉傾向ながら作柄は悪く、裏年の前年程度の入荷量にとどまる。数量は少ないが、景気の低迷から業務需要は減っており、単価は前年並みとなる見込み。 品種は早生種の久寿は早めに切り上がり晩生の藤久郎でやや量が回復する見込み。</p>			<p>果実でも近年は食べやすいものが好まれ、皮をむく手間が敬遠される傾向にあるため、封筒に入れ電子レンジで加熱して簡単に殻をむく方法をPRすることが必要ではないか。 茶碗蒸し、土瓶蒸し等高級食材の中心というイメージが固定化しているため、消費拡大のため若者、子どもにも食べてもらえるメニューの開発が重要である。</p>		

○ 東京都中央卸売市場（品目：カリフラワー）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
21年実績	435	33 (8%)	148	164	埼玉 (17%) 茨城 (14%) 新潟 (12%)
22年見通し	425	—	170	—	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>新潟は出荷最盛期を迎える。長野は終盤となり、かわりに茨城、埼玉など関東産の入荷が増えてくる。 入荷量は前年をやや下回りで、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>			<p>ブロッコリーの消費拡大の影響もあり、作付面積の減少傾向が続いている。 愛知産は品質が高く評価されており、日量格差のない安定した出荷が望まれる。 今後は温野菜メニューによる業務需要も見込まれるので、ロットを確保し安定出荷をお願いしたい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の11月の見通し

名古屋市中央卸売市場

10月15日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	17年	39,318	174	181	167	173	北海道 32%
	18年	38,661	152	147	151	160	愛知 23%
	19年	36,831	186	180	178	202	茨城 10%
	20年	36,502	187	176	198	187	長野 6%
	21年	35,346	173	178	165	177	
	5カ年平均	37,332	174	-	-	-	
	22年見通し	33,800	224	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は北海道、地元愛知、北関東が中心。葉もの、果菜を中心に、梅雨明け後の高温、干ばつの影響による生育不良で入荷量は減少し、小玉傾向。北海道の土ものは昨年に引き続き入荷量少くなる見込み。入荷量は、前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。							
だいこん	17年	2,860	64	79	58	54	愛知 55%
	18年	2,572	48	47	45	53	千葉 34%
	19年	2,607	63	60	59	71	青森 6%
	20年	2,507	77	75	77	78	神奈川 1%
	21年	2,382	59	61	60	54	
	5カ年平均	2,586	62	65	60	62	
	22年見通し	2,400	70	70	70	70	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は青森から、地元愛知と千葉に移行。播種期の低温、梅雨明け後の高温から生育悪く不安定な入荷が続いたが、月の後半には高温の影響がやや薄れ、入荷量も回復する見込み。入荷量は前年並みで、価格は前年を大幅に上回る見込み。							
にんじん	17年	2,602	102	95	107	108	北海道 51%
	18年	2,529	93	93	90	96	愛知 20%
	19年	2,426	119	114	112	131	千葉 13%
	20年	2,641	102	97	82	101	岐阜 10%
	21年	2,122	113	119	117	103	
	5カ年平均	2,464	105	103	101	108	
	22年見通し	2,000	150	180	150	120	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は北海道の残量と青森中心で、上旬には岐阜、愛知が出てくる。JAの出荷は切り上がりが早く、商系事業者では冷蔵ものが出てくる。愛知は8月定植分の発芽率が悪く小玉傾向で入荷量は少なめとなる。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

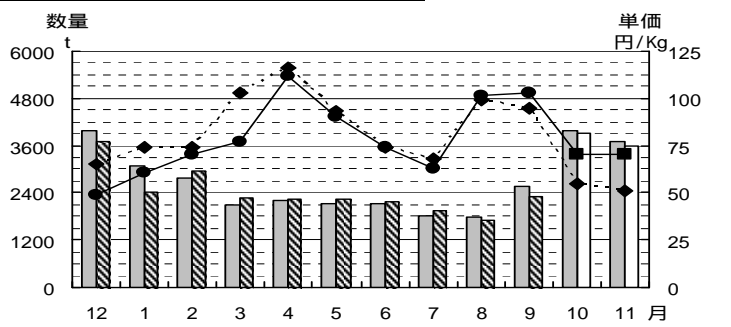
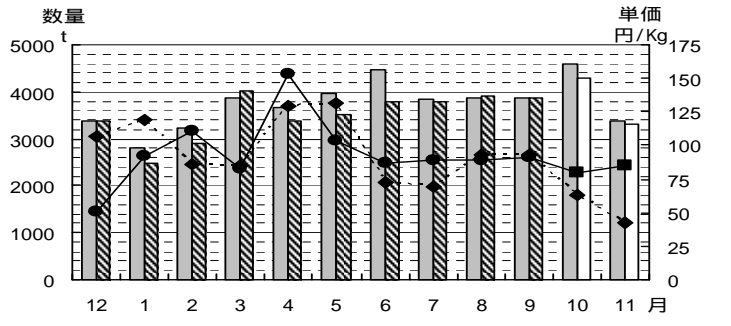
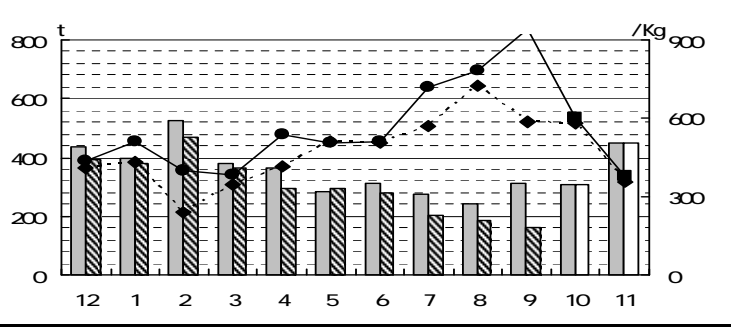
10月21日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	17年	129,896	189	200	177	189	茨城 22%
	18年	131,809	162	157	156	173	千葉 22%
	19年	128,380	202	194	196	216	北海道 17%
	20年	121,090	209	201	210	216	埼玉 5%
	21年	128,769	182	185	173	190	(愛知産比率 3%)
	5ヵ年平均	127,989	189	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
22年見通し		123,000	200	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>関東産地からの入荷が中心で、土物類は前月に続き北海道からの入荷となる。全般的に夏場の猛暑や豪雨の影響は回復しつつあるが、土物には影響が残り、品薄が続くと見込まれる。</p> <p>全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>							
だいこん	17年	12,712	57	72	55	47	千葉 70%
	18年	12,130	39	37	36	44	神奈川 11%
	19年	13,613	56	54	52	62	青森 7%
	20年	11,611	67	65	70	67	茨城 5%
	21年	12,276	52	53	55	47	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	12,468	54	56	53	53	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
22年見通し		11,700	65	70	65	60	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>関東産地からの入荷が中心となる。千葉は高温、乾燥からは種作業が遅れているため、1週間程度遅れている。神奈川もは種が遅れたが、その後の天候で回復した。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							
にんじん	17年	7,628	96	92	102	95	千葉 56%
	18年	7,861	87	93	89	80	北海道 24%
	19年	7,834	119	118	120	120	埼玉 7%
	20年	7,264	117	104	124	124	茨城 5%
	21年	7,887	109	116	114	98	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	7,695	105	105	110	103	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
22年見通し		7,400	120	125	120	115	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道が終盤となり、千葉を中心とした関東産地からの入荷が本格化する。北海道は11月上旬には概ね切り上がる見込み。千葉を始め関東産地は1週間程度の生育遅れがある。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>							

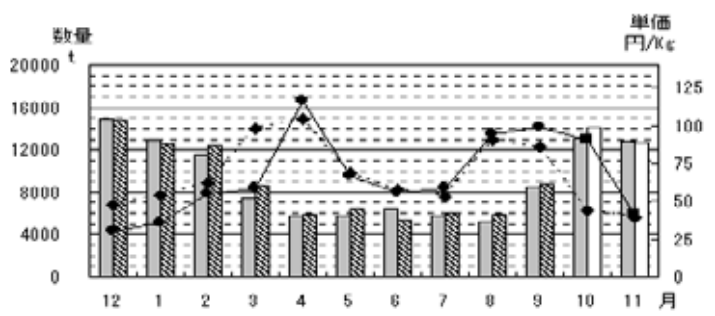
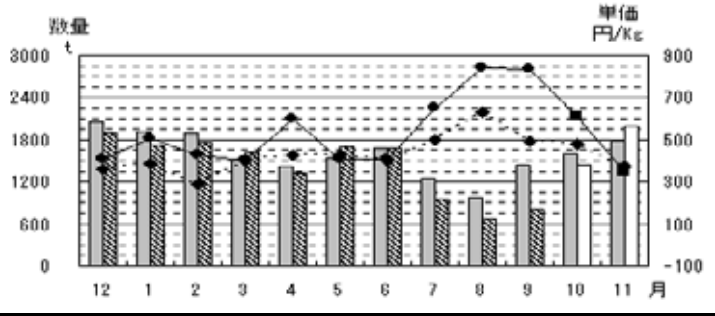
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうきさい	17年	4,034	64	80	55	56	茨城 39%
	18年	3,912	46	46	40	51	愛知 39%
	19年	4,115	58	61	59	54	長野 17%
	20年	3,942	64	60	66	66	
	21年	3,679	51	60	47	47	
ほうきさい	5カ年平均	3,936	57	62	54	55	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
ほうきさい	22年見通し	3,600	70	70	70	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は長野から、茨城、愛知に移行。愛知は高齢化により作付面積は減少傾向。梅雨明け後の高温、干ばつの影響でピークはやや遅れているが、中旬以降は順調な入荷となる見込み。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					 <p>数量 t / 単価 円/Kg</p>
キャベツ	17年	3,099	71	79	54	79	愛知 64%
	18年	3,485	39	42	34	40	茨城 25%
	19年	3,651	63	59	56	75	群馬 3%
	20年	3,500	99	94	97	107	
	21年	3,384	42	46	39	40	
キャベツ	5カ年平均	3,424	63	64	56	68	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
キャベツ	22年見通し	3,300	85	90	85	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知、茨城中心。上旬まで北海道の残量がある。播種期の高温により、生育は遅れ気味で小玉傾向。気温の低下とともに回復傾向にはあるが、入荷量は平年を下回る。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					 <p>数量 t / 単価 円/Kg</p>
ほうれんそう	17年	544	343	376	271	388	愛知 69%
	18年	542	234	204	244	260	岐阜 25%
	19年	475	377	315	376	473	群馬 2%
	20年	396	454	457	452	454	茨城 2%
	21年	448	359	404	267	449	
ほうれんそう	5カ年平均	481	346	344	315	398	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
ほうれんそう	22年見通し	450	380	400	380	360	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は地元愛知と岐阜の残量。ハウスものから露地ものへ移行する時期。愛知は高温による定植の遅れと病害虫の発生により生育は遅れている。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					 <p>数量 t / 単価 円/Kg</p>

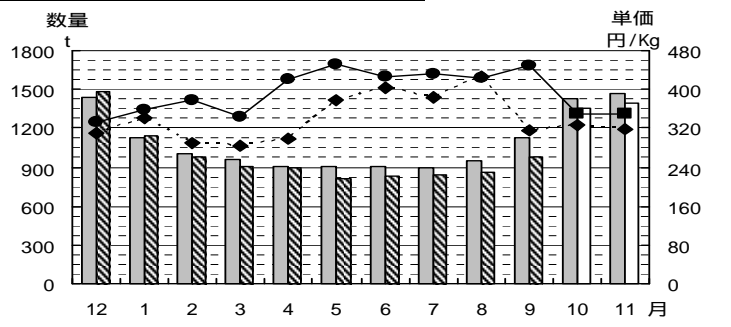
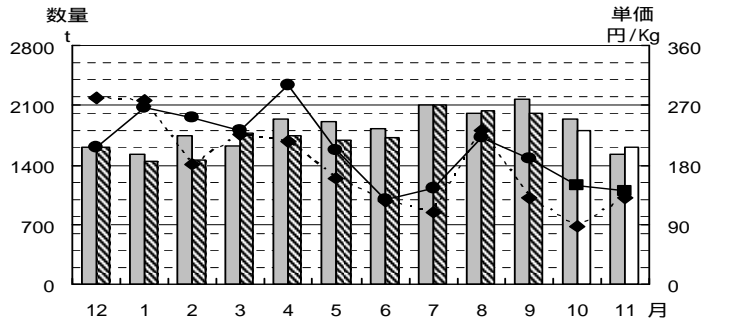
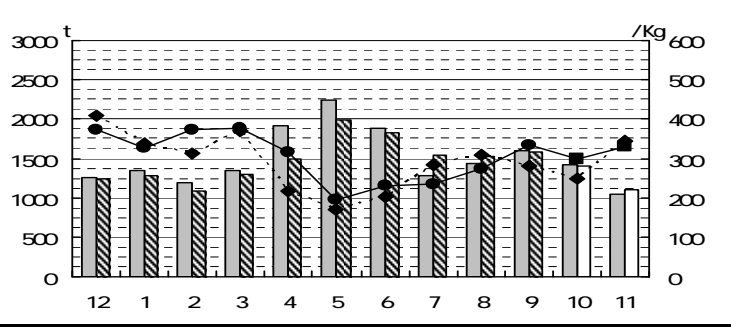
東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	17年	13,301	44	50	42	40	茨城 86%
	18年	12,824	26	23	21	34	長野 6%
	19年	12,779	41	44	41	39	群馬 5%
	20年	12,897	45	43	46	47	北海道 1%
	21年	12,751	39	43	38	34	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	12,910	39	41	38	39	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	12,700	41	43	41	39	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野に代わり茨城からの入荷が中心となる。茨城の生育は概ね2週間程度の遅れが見られ、11月中旬には増える見込み。長野は10月末に終了の見込み。11月上旬には、一時的に出荷量が少なく高くなる可能性がある。入荷量は少なかった前年並みで、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
キヤベツ	17年	13,459	64	65	54	74	千葉 47%
	18年	13,394	39	40	35	40	茨城 19%
	19年	12,923	63	56	57	78	愛知 18%
	20年	11,270	93	86	90	107	神奈川 5%
	21年	13,888	44	44	43	46	(愛知産比率 18%)
	5ヵ年平均	12,987	59	57	55	68	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	12,500	75	80	75	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉を始めとする関東産地に愛知からの入荷が始まる。千葉や茨城が高温、干ばつにより生育が遅れて、11月前半は品薄が見込まれる。愛知は一部に虫害が見られるが生育、概ね順調である。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
ほうれんそう	17年	2,211	338	384	272	363	群馬 38%
	18年	2,048	280	256	269	318	茨城 21%
	19年	2,074	371	306	349	493	千葉 13%
	20年	1,749	383	386	383	379	埼玉 13%
	21年	1,771	373	456	311	379	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	1,971	347	354	314	387	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	2,000	350	360	350	340	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地からの入荷が中心となる。群馬は、高温、干ばつの影響は回復しつつある。千葉、埼玉は概ね順調に生育し、11月は平年並みの出荷の見込み。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	17年	1,317	279	287	262	288	北海道 20%
	18年	1,302	291	276	304	292	愛知 13%
	19年	1,430	361	346	340	396	富山 13%
	20年	1,441	316	297	320	330	長野 7%
	21年	1,468	319	338	302	318	
	5カ年平均	1,392	314	310	306	326	
22年見通し	1,400	350	350	350	350	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は北海道の白ねぎ中心で他に富山、長野、愛知と産地が多い時期。愛知の長ねぎは高温で根の張りが悪く太さ不足。北海道の切り上がりは早まる見込みで、端境が生じる見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
し	17年	2,082	141	186	102	145	茨城 48%
	18年	2,123	99	112	74	114	兵庫 42%
	19年	1,898	145	122	127	203	愛知 4%
	20年	1,472	188	163	204	200	長崎 2%
	21年	1,532	131	129	97	180	
	5カ年平均	1,822	138	142	116	165	
22年見通し	1,600	140	150	140	130	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は茨城、兵庫、地元愛知。各地とも梅雨明け後の高温、干ばつの影響は薄れつつある。茨城の生育は順調で、後半になるに従い回復傾向となる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
きゅう	17年	1,316	314	350	317	281	愛知 23%
	18年	1,372	209	189	197	246	群馬 22%
	19年	2,316	221	166	233	276	宮崎 18%
	20年	945	478	601	482	371	高知 12%
	21年	1,047	346	311	262	496	
	5カ年平均	1,399	290	286	280	317	
22年見通し	1,100	330	350	320	300	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は関東山地から愛知、西南暖地に移行。各産地とも作付面積は減少。高温の影響はあるが、生育は各地とも順調で、平年並みの入荷が見込まれる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年をやや下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)		
			上旬	中旬	下旬			
ね	17年	6,038	194	186	183	212	青森 18%	
	18年	6,019	209	187	216	225	埼玉 15%	
	19年	5,642	291	269	277	327	茨城 12%	
	20年	6,155	215	232	192	224	千葉 11%	
	21年	5,782	246	252	236	250	(愛知産比率 0%)	
	5ヵ年平均	5,927	230	224	220	246	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
ぎ	22年見通し	5,800	250	270	240	240		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
		青森はピークを過ぎ、関東産地からの入荷が本格化してくる。青森は中旬に終了見込み。埼玉の生育は豪雨により3週間程度の遅れがある。茨城は生育順調。千葉は、高温により10日間程度の遅れがある。入荷量は前年並みで、価格は前年並みの見込み。						
し た ス	17年	7,473	136	166	100	146	茨城 71%	
	18年	7,693	88	96	67	104	香川 8%	
	19年	7,446	130	107	118	180	兵庫 8%	
	20年	6,149	165	141	180	176	栃木 4%	
	21年	6,986	113	109	86	154	(愛知産比率 0%)	
	5ヵ年平均	7,149	125	123	108	151	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
ス	22年見通し	7,200	100	120	90	90		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
		茨城からの入荷が中心。茨城の生育は順調で11月には入荷が前年並みになる見込み。兵庫は高温では種の遅れがあったが回復傾向。香川も同様には種が遅れが回復傾向。入荷量は前年並みで、価格は前年を大幅に下回る見込み。						
き ゆ う り	17年	4,970	321	340	314	310	埼玉 34%	
	18年	5,195	217	195	202	263	群馬 18%	
	19年	5,068	321	293	365	305	宮崎 14%	
	20年	4,173	458	563	446	368	茨城 9%	
	21年	4,726	343	292	262	507	(愛知産比率 0%)	
	5ヵ年平均	4,826	327	328	313	347	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
り	22年見通し	4,700	350	370	340	340		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
		関東産地に加えて西南暖地からの入荷が増加してくる。埼玉の生育は根の張りが悪く樹勢が低下している。出荷量は平年より少なめの見込み。群馬は猛暑の影響が残り生育不良が見られる。入荷量は前年並みで、価格は前年をわずかに上回る見込み。						

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な	17年	560	329	314	307	369	熊本 48%
	18年	611	278	233	285	334	愛知 41%
	19年	580	326	308	309	371	高知 3%
	20年	490	368	305	430	376	鹿児島 2%
	21年	512	329	292	336	366	
	5カ年平均	551	324	289	330	362	
す	22年見通し	500	330	300	330	350	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>夏秋産地から秋冬産地へ移行し、愛知の千両と熊本の長なす中心。愛知は高温による花落ち等が発生し数量の増加は見込めない。熊本は生育が遅れ気味だったが今年は台風もなく回復傾向。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並みとなる見込み。</p>					
ト	17年	810	469	531	464	425	愛知 31%
	18年	1,039	322	285	319	373	熊本 28%
	19年	862	427	424	342	564	岐阜 15%
	20年	790	410	317	445	502	三重 12%
	21年	1,058	219	230	183	259	
	5カ年平均	912	359	348	339	414	
ト	22年見通し	800	430	450	430	400	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知、熊本中心で夏秋産地は終了。熊本では高温の影響で1、2段目の花落ちが多く、小玉傾向。入荷量は中旬から平年並みとなる見込み。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
ミ	17年	197	804	803	870	746	愛知 51%
	18年	230	613	572	604	663	熊本 34%
	19年	200	816	790	829	836	北海道 7%
	20年	177	786	587	879	954	
	21年	276	445	480	442	415	
	5カ年平均	216	671	634	698	695	
ト	22年見通し	200	750	800	750	700	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は北海道が上旬に終了し、愛知、熊本中心となる。愛知の作付は前年並みで、高温の影響もあり不作だが後半は回復傾向。熊本も作付面積は増加しているが、作柄は悪い。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

「なす」の数値には「べいなす」を含まない。

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	17年	2,774	321	288	295	400	高知 60%
	18年	2,760	297	247	298	369	福岡 11%
	19年	2,941	286	234	268	396	栃木 7%
	20年	2,329	359	306	394	389	佐賀 5%
	21年	2,199	367	309	384	430	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	2,601	323	274	322	396	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	2,500	330	320	320	350	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>関東産地にかわり、西南暖地からの入荷が本格化する。高知の生育は高温の影響も少なく順調である。福岡の生育は高温の影響で樹勢が弱りやや不良である。栃木は高温により生育が遅れていたが、回復傾向。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ト マ ト	17年	4,379	466	518	435	443	熊本 25%
	18年	5,778	315	290	299	368	千葉 20%
	19年	4,792	418	388	355	568	茨城 16%
	20年	4,276	419	325	451	513	愛知 12%
	21年	6,321	232	246	191	275	(愛知産比率 12%)
	5カ年平均	5,109	357	342	332	420	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	5,700	280	270	270	290	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>関東産地に加え、西南暖地と愛知からの入荷が本格化する。熊本は好天に恵まれ生育良好。千葉は高温により一部に着果不良が見られるものの概ね良好である。茨城は高温の影響で着果不良が見られ、減収傾向。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	17年	917	720	683	792	687	愛知 21%
	18年	1,121	528	497	498	597	熊本 19%
	19年	980	734	702	710	798	茨城 16%
	20年	896	721	535	777	888	千葉 14%
	21年	1,370	408	429	365	438	(愛知産比率 21%)
	5カ年平均	1,057	601	556	601	658	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	1,200	590	570	600	600	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>関東産地と愛知、熊本からの入荷が中心となる。愛知は高温の影響で中旬まで出荷量がやや少ない。熊本は高温の影響がほとんどなく生育は順調である。千葉、茨城は高温の影響で一部に着果不良が見られる。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	17年	561	372	448	366	318	鹿児島 38%
	18年	633	193	208	177	196	宮崎 36%
	19年	523	349	398	317	325	高知 15%
	20年	469	326	251	323	428	
	21年	465	375	416	345	357	(愛知産比率 0%)
マ	5カ年平均	530	317	340	300	317	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	480	380	400	370	350	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は西南暖地の促成もの中心。作付面積は前年並みで、定植時の高温により生育は不安定で、上旬の数量は少ない見込みだが、中旬以降は回復する見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前並みとなる見込み。</p>					
ばいしょ	17年	3,804	87	87	85	89	北海道 98%
	18年	3,307	94	90	99	92	長崎 2%
	19年	2,931	78	75	81	79	京都 0%
	20年	3,284	80	77	85	79	
	21年	2,934	107	104	102	117	(愛知産比率 0%)
い	5カ年平均	3,252	89	86	90	91	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	2,700	160	160	160	160	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は北海道中心。前月に引き続き、定植の遅れと播種時の多雨から小玉傾向で、平年になく少ない収穫量となる。高温から腐敗も発生し下級品も多いが、高単価は続く見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は高かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
たまねぎ	17年	5,955	77	80	80	73	北海道 98%
	18年	5,873	74	75	74	74	アメリカ 1%
	19年	5,636	64	65	62	66	兵庫 0%
	20年	5,689	65	69	67	61	中国 0%
	21年	5,565	81	85	86	74	
ね	5カ年平均	5,744	72	75	74	70	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	5,200	125	125	125	125	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は北海道中心。作付面積は前年並みで、早生種から中晩生種へ移行する。高温の影響から全体的に小玉傾向。業務需要が不足しているため、中国のむき玉の輸入が増える見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	17年	1,895	325	378	316	278	茨城 65%
	18年	2,216	163	182	153	154	宮崎 14%
	19年	1,931	330	386	288	309	高知 11%
	20年	1,708	319	235	313	427	鹿児島 7%
	21年	1,760	332	437	269	298	(愛知産比率 0%)
マ	5カ年平均	1,902	288	319	263	286	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	1,700	320	340	300	320	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城に加えて西南暖地からの入荷が始まる。茨城の生育は高温の影響で着果不良や品質低下が見られる。高知の生育は概ね順調。宮崎は生育が順調であるも、作付けの減少で出荷量は減少する。 入荷量は前年並み、価格はわずかに前年を下回る見込み。</p>					
ばいしょ	17年	6,722	97	97	97	99	北海道 99%
	18年	6,904	107	108	106	107	長崎 1%
	19年	7,583	87	86	88	86	(愛知産比率 -%)
	20年	7,704	92	90	91	95	
	21年	7,281	127	123	127	131	
い	5カ年平均	7,239	102	101	102	103	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	6,700	150	145	150	155	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷が中心となる。7月頃までは、順調で潤沢の見込みであったが、夏場の高温、豪雨が大きく影響したため品質低下がみられ、全体に小玉傾向にある。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
たまねぎ	17年	10,122	90	87	90	93	北海道 94%
	18年	10,065	84	86	83	84	中国 3%
	19年	10,518	70	69	70	72	米国 2%
	20年	9,728	76	76	76	75	(愛知産比率 -%)
	21年	9,472	100	98	99	103	
5カ年平均	9,981	84	83	83	85	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
22年見通し	9,000	130	125	130	135		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>春先まで北海道中心の入荷が続く。早生種から中晩生種へと切り替わる。夏場の高温、豪雨が大きく影響し、根傷み、徒長による倒伏が見られ、小玉傾向で量が少ない。 入荷量は少な前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)
			上旬	中旬	下旬	
果実計	17年	18,963	187	182	189	岐阜 17% 静岡 15% フィリピン 14% 長野 12%
	18年	14,496	277	275	283	
	19年	15,287	233	237	227	
	20年	13,369	240	227	245	
	21年	14,213	209	209	206	
	5カ年平均	15,266	227	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	11,500	270	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
春の天候不順による花落ち、着果不良の影響が続く。また梅雨明け後高温が続いた影響で、果樹は小玉傾向で、日焼け果も出て入荷は平年になく少量となる見込み。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。						
みかん	17年	6,407	138	159	124	静岡 42% 愛知 17% 和歌山 17% 三重 9%
	18年	4,569	273	276	268	
	19年	6,193	158	185	147	
	20年	4,624	227	217	231	
	21年	4,900	159	182	155	
	5カ年平均	5,339	185	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	4,200	230	230	230	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
産地は静岡、三重、和歌山、愛知中心。4月の低温で生育が遅れ、梅雨明け後の高温で日焼け果も出ている。裏年で小玉傾向となるため入荷量の不足が見込まれる。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。						
かき	17年	3,757	143	160	122	岐阜 77% 三重 11% 和歌山 7%
	18年	2,934	234	226	239	
	19年	2,756	235	217	249	
	20年	2,716	172	155	184	
	21年	3,157	171	165	175	
	5カ年平均	3,064	188	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	2,300	230	230	230	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
産地は岐阜、和歌山、三重、愛知。4月の低温による着花不足で不作傾向。カメムシと梅雨明け後の高温による日焼け果も発生し、生理落果も多くなる見込み。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。						

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	17年	60,535	201	199	199	144	愛媛 18%
	18年	49,247	299	283	296	320	フィリピン 10%
	19年	53,858	239	245	233	238	山形 9%
	20年	52,083	243	234	243	251	熊本 9%
	21年	52,440	209	208	204	215	(愛知産比率 1%)
	5カ年平均	53,633	236	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	45,000	260	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>みかん、りんご、かき等が入荷する。りんごは「ふじ」中心で前年をやや下回る入荷。山形の洋なしは昨年より小玉。夏場の高温乾燥による影響がやや残り、果実全体の入荷量は前年より少なめの予想である。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回ると見込まれる。</p>					
みかん	17年	27,868	146	155	154	187	愛媛 41%
	18年	20,227	284	284	292	291	熊本 19%
	19年	25,827	169	183	171	159	長崎 17%
	20年	21,844	230	219	235	233	和歌山 10%
	21年	23,100	162	173	159	157	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	23,773	201	204	206	212	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	21,000	240	250	230	240	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛媛、長崎、熊本中心に入荷。極早生から早生に切り替わる。裏年にあたり、各産地ともに色回りは遅れぎみで小玉傾向である。愛媛産は食味良好な仕上がりで上旬から入荷量がまとまってくる。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回ると見込まれる。</p>					
かき	17年	9,913	157	176	156	136	新潟 18%
	18年	7,275	266	255	265	289	奈良 17%
	19年	8,170	236	242	233	229	福岡 16%
	20年	8,751	187	184	186	192	岐阜 15%
	21年	7,825	194	183	196	207	(愛知産比率 7%)
	5カ年平均	8,387	204	206	204	206	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	7,500	320	340	320	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>「平核無」は新潟、「富有」は奈良、福岡、岐阜から入荷する。福岡産は着果不良と生理落果が多い。奈良産は裏年で春先の霜害もあり少ない。岐阜産は日焼け果が多い。愛知産も前年を下回る見込み。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回ると見込まれる。</p>					

切花・鉢花の11月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 10月27日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪ぎ	実績	18年	2,620	47	
		19年	3,349	39	
		20年	2,170	63	
		21年	2,339	51	
		4ヶ年平均	2,620	49	
	22年見通し	2,400	50		
概要	愛知、岐阜、三重を中心に一部九州から入荷。高冷地が完全に終了し、県内を始め暖地物に切り替わる。夏場の高温の影響が多少でているが、生育状況は順調である。「神馬」「精興の誠」「晃花の富士」等が出荷の中心で、出荷量、価格ともに前年並みを見込む。				
小ぎ	実績	18年	1,267	20	
		19年	1,540	14	
		20年	1,087	26	
		21年	1,303	22	
		4ヶ年平均	1,299	20	
	22年見通し	1,300	25		
概要	愛知、奈良、静岡中心に入荷。中旬から沖縄の出荷が始まる。露地物は台風等の影響もなく、順調に推移。沖縄も長雨の影響は多少あるものの、概ね順調。極端に入荷が集中しなければ堅調に推移する見込み。				
カーネーション	実績	18年	1,351	28	
		19年	1,938	20	
		20年	1,074	34	
		21年	1,300	27	
		4ヶ年平均	1,416	26	
	22年見通し	1,300	30		
概要	長野、愛知、和歌山から入荷。夏場の高温の影響で高冷地産は減少し、暖地産が増加する。高冷地産の切上がりが早く暖地産が遅れたため、前月のブライダル需要期には品不足となったが、徐々に回復する見込み。今月もブライダル需要で堅調に推移する見込み。				
かすみ	実績	18年	231	56	
		19年	215	74	
		20年	112	106	
		21年	172	65	
		4ヶ年平均	182	71	
	22年見通し	170	75		
概要	高知、熊本、和歌山より入荷。高冷地産は終了し、暖地産に移行する。各産地とも生育は順調で前年並みの入荷量が見込まれる。価格は、ブライダル、業務中心の動きとなるが、下位等級の割合が多くなることが予想され、単価はやや低めとなる見込み。				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆ り	実績	18年	391	151	
		19年	581	128	
		20年	330	164	
		21年	369	147	
	4ヶ年平均		418	145	
	22年見通し		370	150	
概要	高知、鳥取、岐阜から入荷。てっぼうゆりは順調な入荷が見込まれ、価格は安定する見込み。LA、すかしゆりは年末を前に量は少ないが、荷動きも良くない時期で、価格は落ち着いた動きとなる。オリエンタルは出荷集中により軟調となる展開が見込まれる。				
洋 ら ん	実績	18年	411	80	
		19年	856	47	
		20年	396	84	
		21年	404	76	
	4ヶ年平均		517	66	
	22年見通し		500	70	
概要	愛知、鹿児島、高知、徳島等と輸入物が入荷。シンビジウムは国内産が徐々に増え始める。前月に引き続き、カトレア、コショウランは若干不安定な入荷となる見込みで、年内は品質、量ともに、猛暑の影響が残ることが予想される。				
ば ら	実績	18年	1,030	77	
		19年	2,006	43	
		20年	937	80	
		21年	997	80	
	4ヶ年平均		1,242	64	
	22年見通し		1,000	70	
概要	愛知、岐阜、三重、和歌山等から入荷。主力は暖地産となり、気温の低下とともに品質は向上するが、高冷地産が終了し、量的には落ち着く。今月もブライダル需要が多くなることから、相場は堅調な動きとなる。				
枝 も の	実績	18年	1,656	45	
		19年	1,851	38	
		20年	1,473	43	
		21年	1,420	42	
	4ヶ年平均		1,600	42	
	22年見通し		1,500	40	
概要	静岡、長野、岐阜等を中心に入荷。山取りの紅葉ものや実ものは終了し、冬の商材に切り替わるが、手を加える必要のある物は少なめ。栽培物が中心になり、特定の種類が集中すると稽古需要も少ないため、価格面ではは苦しい展開となる。				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ドラセナ類	実績	17年	19,791	838	
		18年	17,416	919	
		19年	20,345	733	
		20年	16,277	656	
		21年	16,955	650	
	5ヶ年平均		18,157	762	
	22年見通し		15,000	600	
概要	<p>入荷量は減少か。比較的寒さに強いストリクタ、ヒロバドラセナ等が主体か。ユッカは入荷減。 昨年11月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(56%)、2位鹿児島(19%)、3位沖縄(12%)となっている。</p>				
シャコバサボテン	実績	17年	64,672	400	
		18年	57,462	420	
		19年	67,382	395	
		20年	49,610	375	
		21年	41,780	408	
	5ヶ年平均		56,181	400	
	22年見通し		40,000	400	
概要	<p>生産量減少のため、入荷量も減少か。需要も少なく、単価も下げ傾向にあり、非常に厳しい動きとなりそう。 昨年11月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(92%)、2位茨城(5%)、3位埼玉(2%)となっている。</p>				
シクラメン	実績	17年	916,513	296	
		18年	1,025,528	270	
		19年	848,807	318	
		20年	793,405	315	
		21年	837,794	300	
	5ヶ年平均		884,409	298	
	22年見通し		820,000	280	
概要	<p>残暑の影響で入荷量が遅れそう。5号鉢の入荷量は減少すると思われるが、4号鉢は増加か。 昨年11月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(40%)、2位長野(20%)、3位岐阜(5%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
シンビジュウム	実績	17年	52,150	2,778	
		18年	70,189	2,604	
		19年	67,669	2,701	
		20年	60,803	2,400	
		21年	66,856	2,300	
	5ヶ年平均	63,533	2,550		
	22年見通し	64,000	2,200		
概要	<p>残暑で花芽分化が遅れたため、入荷量は減少か。また、前述の影響で良品も減少か。昨年11月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知（53%）、2位徳島（10%）、3位高知（9%）となっている。</p>				
カラッコエ	実績	17年	42,877	210	
		18年	50,297	180	
		19年	45,077	195	
		20年	41,379	174	
		21年	53,539	170	
	5ヶ年平均	46,634	185		
	22年見通し	55,000	160		
概要	<p>残暑の影響で先月入荷しなかったものが、まとめて入荷しそう。ただ、シクラメンやポインセチアなどの時期ものに押されそう。昨年11月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位埼玉（49%）、2位岐阜（40%）、3位茨城（6%）となっている。</p>				
パンジ	実績	17年	1,389,280	50	
		18年	1,411,924	36	
		19年	1,282,495	49	
		20年	1,140,460	41	
		21年	1,137,161	41	
	5ヶ年平均	1,272,264	44		
	22年見通し	1,000,000	40		
概要	<p>残暑の影響で上旬の良品で花付ものは減少か。この月は需要、供給とも最大となる。昨年10月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知（44%）、2位三重（17%）、3位奈良（16%）となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績(2010年)

1 輸入実績

品名	8月						8月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	43,898	118.0	4,970,217	107.6	113	91.3	467,792	127	45,796,174	129	98	94.0
トマト	228	82.0	59,036	89.2	258	108.8	2,044	163	743,129	217	364	133.6
たまねぎ	16,981	102.1	573,693	88.6	34	86.7	196,358	155	8,802,755	184	45	118.1
にんにく	2,030	105.8	471,518	187.8	232	177.4	12,595	95	2,198,433	187	175	167.1
ねぎ	4,205	151.5	375,722	104.9	89	69.3	30,566	149	2,784,539	131	91	90.5
ブロッコリー	3,929	116.3	556,011	108.4	142	93.2	22,605	109	3,907,840	115	173	106.3
結球キャベツ	987	351.5	31,266	223.3	32	63.5	13,369	118	506,787	125	38	105.3
にんじん・かぶ	7,578	166.5	265,725	104.0	35	62.5	35,795	127	1,605,284	105	45	88.6
ごぼう	3,105	105.6	159,577	105.9	51	100.3	22,443	97	1,205,027	120	54	122.9
えんどう	52	94.9	13,319	92.9	258	97.9	1,394	214	367,199	268	263	118.2
アスパラガス	165	88.5	90,821	76.8	551	86.8	7,847	119	3,756,787	110	479	86.2
まつたけ	442	86.8	1,166,343	96.4	2,639	111.0	620	96	1,773,454	104	2,861	71.8
しいたけ	164	152.7	41,206	148.2	251	97.1	3,376	124	851,684	135	252	107.6
かぼちゃ	179	87.4	13,898	75.7	78	86.6	81,116	99	5,468,787	115	67	111.1
果実(生鮮・乾燥)	148,991	96.8	16,472,475	96.0	111	99.2	1,324,144	93	156,689,857	97	118	106.0
バナナ	87,656	92.5	6,001,077	79.1	68	85.6	748,881	86	52,478,282	77	70	95.1
パイナップル	11,703	96.4	696,243	89.3	59	92.6	93,755	96	5,846,013	93	62	99.4
レモン	6,231	126.0	610,077	123.9	98	98.3	36,214	103	4,539,843	116	125	108.4
オレンジ	8,545	99.8	757,305	91.0	89	91.2	85,750	112	8,291,972	110	97	99.3
グレープフルーツ	10,234	77.3	643,980	79.1	63	102.4	143,530	92	13,240,151	99	92	104.3
メロン	2,081	123.7	168,933	134.0	81	108.3	19,563	88	2,057,773	85	105	99.9
ぶどう	138	92.6	33,950	88.2	246	95.3	7,397	136	1,188,288	138	161	86.8
キウイ	9,238	123.5	2,762,789	121.0	299	97.9	50,890	110	16,043,111	114	315	93.9
いちご	511	92.2	421,435	85.5	826	92.7	1,216	90	1,011,148	86	832	93.5
切花(生鮮・乾燥)	4,684	119.5	3,280,684	114.1	700	95.5	26,338	113	19,214,691	111	730	99.3
鳥獣肉類	156,090	130.4	66,215,221	125.8	424	96.5	1,166,394	108	499,412,014	107	428	100.5
牛肉(くず肉含む)	45,423	116.8	17,886,945	112.6	394	96.5	317,514	99	130,777,902	106	412	106.4
豚肉(くず肉含む)	66,498	126.5	34,878,168	126.4	524	100.0	520,523	108	273,002,563	108	524	100.1
鶏肉	36,592	168.1	8,685,284	183.3	237	109.0	272,835	125	61,251,622	111	225	96.4
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	145,363	109.4	84,608,776	115.3	582	105.4	1,148,569	99	589,937,733	97	514	98.5
まぐろ類	20,269	109.3	16,436,279	113.0	811	103.4	140,170	98	107,715,033	83	768	88.9
さば・さんま・あじ・いわし	4,073	102.6	724,290	126.5	178	123.2	52,505	74	8,421,516	69	160	93.0

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	319	53.5	248,867	69.2	779	129.3	14,460	126	4,720,972	133	326	110.7
うんしゅうみかん	4	81.6	5,019	101.8	1,263	124.8	237	205	109,327	133	461	343.6
りんご	55	29.9	27,445	38.7	495	129.7	13,423	128	3,741,666	147	279	107.7
なし	15	14.6	8,242	17.8	552	122.0	58	51	26,556	51	457	113.4
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	183,997	95.7	-	-	-	-	1,746,549	93	-	-
緑茶	184	103.5	345,855	118.2	1,876	114.3	1,390	109	2,689,794	121	1,935	110.7

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 (全国 平成17年 = 100)				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	21年平均	100.3	103.3	98.9	105.6	104.4
	22年 4月	99.6	125.1	89.0	103.3	102.5
	5月	99.7	116.8	104.0	102.9	102.9
	6月	99.7	111.6	119.4	103.5	102.3
	7月	99.2	107.8	100.4	104.0	102.2
	8月	99.5	114.3	114.0	103.6	103.3
	愛 知 県	21年平均	100.9	100.6	100.0	102.4
22年 4月	99.4	114.4	86.5	101.1	100.7	
5月	99.4	110.1	96.7	100.8	101.1	
6月	99.5	107.4	114.0	101.3	102.9	
7月	99.1	101.8	98.4	100.1	97.5	
8月	99.6	109.7	111.3	98.8	99.0	

項目 年月		農業物価指数 (平成17年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
全 国	21年平均	95.7	98.0	100.7	91.5	98.5
	22年 4月	105.4	97.4	126.0	90.2	97.4
	5月	97.8	97.1	106.2	91.3	99.1
	6月	99.0	97.1	111.4	114.3	102.0
	7月	99.1	97.1	105.8	132.3	101.0
	8月	98.6	96.4	102.8	121.5	99.2

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単一品種「コシ加」 以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
21年平均	2,236	158	172	603	419	313	142	314	203	510	615	201	447
22年 4月	1,995	218	270	669	571	375	194	362	247	493	746	171	423
5月	1,978	224	246	701	470	369	163	364	259	434	620	195	476
6月	2,003	170	206	750	381	366	152	322	230	458	504	179	504
7月	1,982	155	176	717	309	382	168	391	217	469	524	175	560
8月	1,937	168	194	745	496	377	183	442	218	473	592	139	-
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	豚肉(ロース)	牛肉(ロース)	まぐろ
	1 kg	100g	1 kg	100g	1 kg	100g	1本	100g					
21年平均	604	312	382	143	254	682	603	162	166	326	223	752	479
22年 4月	-	266	333	122	239	681	557	155	162	300	234	705	441
5月	-	278	333	120	228	724	557	166	153	302	220	700	420
6月	-	267	342	-	221	767	560	145	165	295	218	710	459
7月	-	285	349	-	215	769	569	144	176	288	212	731	420
8月	-	284	381	-	219	721	569	157	186	289	209	724	409

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



あいち農産物生産流通レポート 449
平成22年11月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6417